国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令 和 ５ 年 ２ 月 １ 日
九 州 地 方 整 備 局
大 分 河 川 国 道 事 務 所

中九州横断道路（大分～犬飼）の道路計画を進めるにあたり 地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会　道路分科会　九州地方小委員会」において、計画段階評価※の手続きを進めております「中九州横断道路（大分～犬飼）」に関し、最適なルート帯やインターチェンジの接続位置等を検討する上で参考となる「重視すべき事項」についてご意見をお聞かせください。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

アンケート調査について（住民、一般道路利用者の方を対象）

○実 施 期 間：下記のとおり

アンケート調査対象者	実施・配布方法
①沿道住民の方 ・令和５年２月２０日（月）から 令和５年３月３１日（金）	・郵送により配布（無作為抽出） 大分市、豊後大野市、竹田市 ※郵送物に掲載のQRコードからアンケートサイトにアクセスして回答することもできます。
②その他の地域にお住まいの道路利用者 ・令和５年２月２日(木)から 令和５年３月３１日(金)	・道の駅「あさじ」「原尻の滝」「おおの」「みえ」「きよかわ」「竹田」「すごう」、大分市役所、豊後大野市役所、竹田市役所、臼杵市役所で配布・実施※ ※施設にポスターを掲示しています。QRコードからアンケートサイトにアクセスして回答することもできます。

アンケート・ヒアリング調査について（自治体・団体・企業を対象）

○実 施 期 間：令和５年２月２日(木) から 令和５年３月３１日(金)

○調査対象等：大分県及び大分県内の自治体、中九州横断道路（大分～犬飼）の利用が考えられる団体、企業等

○実 施 方 法：アンケート方式、対面方式（WEBでの回答も可）

オープンハウス※について　※パネル展示、アンケート調査

○実 施 期 間：令和５年３月２日（木） から 令和５年３月７日（火）
（平日）９時～１６時、（休日）１０時～１６時

○備　　考：荒天等により延期や中止となる場合は、前日の１７時までに大分河川国道事務所のホームページでお知らせします。

実施場所	実施日
大分市役所本庁舎	令和５年３月２日（木）
大分市役所大南支所	令和５年３月７日（火）
豊後大野市役所	令和５年３月３日（金）
竹田市役所	令和５年３月６日（月）
パークプレイス大分	令和５年３月５日（日）

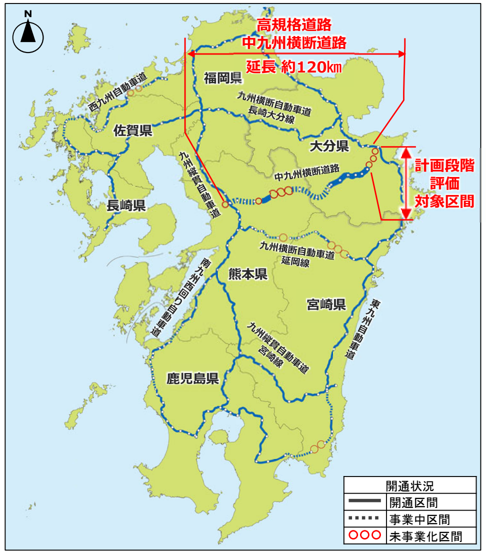
【新型コロナウイルス感染予防に関する取組】
会場では、感染拡大防止のため、調査員のマスク着用、十分な消毒、３密の回避に取り組みます。

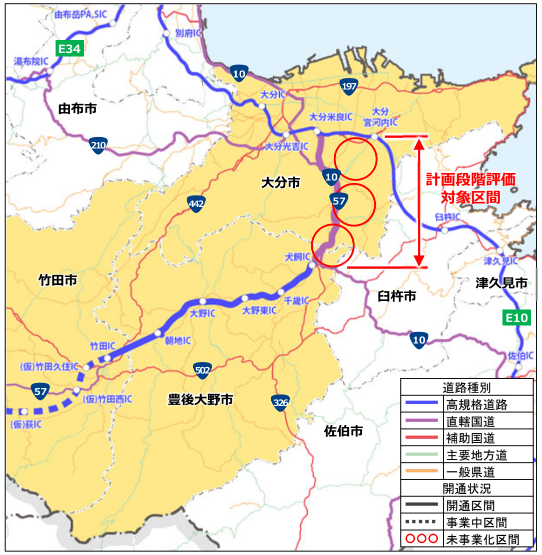
【問合せ先】：国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所
技術副所長　伊藤（いとう） 康弘（やすひろ）　調査第二課長　梶尾（かじお） 辰史（たつし）
（代表）電話：097-544-4167　（直通）電話：097-546-1484　FAX：097-545-7688
URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/

中九州横断道路（大分～犬飼）の計画に関するアンケート調査

中九州横断道路は大分市を起点として豊後大野市・竹田市などを経由し熊本市に至る延長約120kmの道路です。本調査は、中九州横断道路（大分～犬飼）の3つの『ルート帯案』のうち、最適なルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」についてご意見を頂くことを目的としています。お聞きした「重視すべき事項」は、各ルート帯における政策目標等の達成状況とあわせて最適なルート帯等を検討する際の参考とします。皆様のご協力をお願いいたします。

〈対象区間位置図〉





アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。

〈計画段階評価の流れ〉

九州地方小委員会　第１回（R4.1.17開催）
→ 【第１回アンケート】　第１回（R4.2～4開催）
→ 九州地方小委員会　第２回（R4.12.15開催）
→ 地域の皆様、関係機関、企業等への意見聴取【第２回アンケート】（現在はこの段階です）
→ アンケート結果の分析
→ 地域の皆様からの意見も踏まえ、概略ルート・構造等を引き続き検討します。

■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

■アンケート対象者

本アンケートは、大分市・豊後大野市・竹田市にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。

〇本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象と考えております。お手数ですが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

〇幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いしたく、「アンケート回答用返信はがき」を4枚同封させて頂いております。

（対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。）

■回答の提出方法及び締切

回答は、次の方法のうちいずれか１つをお選びください。

【方法１】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、令和5年３月３１日（金）までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

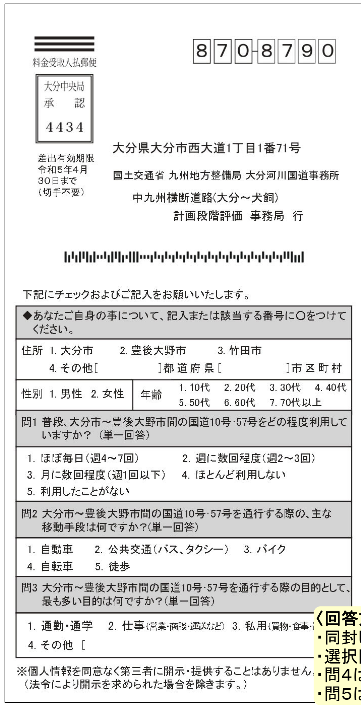
【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、令和5年３月３１日（金）までに、回答をお願いいたします。

A　下記URLをアドレスバーに入力　https://questant.jp/q/oita-inukai-w2

B　QRコードからアクセス

〈返信用の郵便はがきについて〉

【オモテ面】



870-8790

料金受取人払郵便

大分中央局 承認 4434

差出有効期限 令和5年4月30日まで（切手不要）

大分県大分市西大道1丁目1番71号

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

中九州横断道路(大分～犬飼)

計画段階評価 事務局 行

下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

◆あなたご自身の事について、記入または該当する番号に〇をつけてください。

住所 1. 大分市　2. 豊後大野市　3. 竹田市　4. その他[　　]都道府県[　　]市区町村

性別 1. 男性 2. 女性　年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問1 普段、大分市～豊後大野市間の国道10号・57号をどの程度利用していますか？（単一回答）

1. ほぼ毎日（週4～7回）　2. 週に数回程度（週2～3回）　3. 月に数回程度（週1回以下）　4. ほとんど利用しない　5. 利用したことがない

問2 大分市～豊後大野市間の国道10号・57号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？（単一回答）

1. 自動車　2. 公共交通（バス、タクシー）　3. バイク　4. 自転車　5. 徒歩

問3 大分市～豊後大野市間の国道10号・57号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？（単一回答）

1. 通勤・通学　2. 仕事（営業・商談・運送など）　3. 私用（買物・食事・…　4. その他［

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます。）

【ウラ面】

問4 ①～⑳それぞれについて、該当するものに〇をつけてください。ルート帯等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階で評価してください。（5段階評価）

		重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
4-1 ルート帯について							
産業	①	大分市臨海部の産業・物流拠点までの移動時間が短く、輸送時間が読めること	5	4	3	2	1
防災	②	災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること	5	4	3	2	1
防災	③	洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと	5	4	3	2	1
暮らし	④	物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと	5	4	3	2	1
医療	⑤	大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	5	4	3	2	1
医療	⑥	大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること	5	4	3	2	1
観光	⑦	観光地への移動時間が短く、到着時間が読めること	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑧	生活環境(大気質・騒音など)への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑨	自然環境(動物・植物など)への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑩	景観(景観資源など)への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑪	移転する家屋・施設が少ないこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑫	沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑬	施工中の周辺交通などへの影響が小さいこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑭	段階的に開通でき、早期に整備効果が望めること	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑮	整備費用が安いこと	5	4	3	2	1
4-2 インターチェンジの位置等について							
	⑯	周辺の産業・物流施設にアクセスしやすいこと	5	4	3	2	1
	⑰	集落に近接し、大分中心部や熊本方面へ早くかつ安全に移動できること	5	4	3	2	1
	⑱	集落に近接し、大分市内の医療施設への移動時間が短縮すること	5	4	3	2	1
	⑲	観光資源・観光施設に近接して早く行けること	5	4	3	2	1
	⑳	災害時に安全かつ円滑にアクセスできること	5	4	3	2	1

問5 あなたが、上記事項を重視すべきと思う理由や、上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

〈回答方法について〉

・同封している資料をみながら回答してください。

・選択回答の設問は、あてはまる番号に1つだけ〇（マル）をつけてください。

・問4は5段階評価の質問です。各項目について1つずつ〇（マル）をつけてください。

・問5は自由回答です。具体的なご意見をお書きください。

※本事業は、環境影響評価法（平成9年法律第81号）に基づく計画段階環境配慮書（配慮書）の対象事業となることがあり、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

ルート帯を検討するうえで重視すべき事項

産業

1 大分市臨海部の産業・物流拠点までの移動時間が短く、輸送時間が読めること

暮らし

4 物流交通と生活交通の分離が図られ、走りやすく事故の危険性が少ないこと

防災

2 災害時に国道10号・57号の代替路として利用できること

3 洪水浸水想定区域を回避し、通行規制が発生する可能性が低いこと

道路整備による影響

8 生活環境(大気質・騒音など)への影響が小さいこと

9 自然環境(動物・植物など)への影響が小さいこと

10 景観(景観資源など)への影響が小さいこと

11 移転する家屋・施設が少ないこと

12 沿道からの利用が便利なこと

13 施工中の周辺交通などへの影響が小さいこと

14 段階的に開通でき、早期に整備効果が望めること

15 整備費用が安いこと

医療

5 大分市内の三次医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと

6 大分市内の三次医療施設へ早く搬送できること

観光

7 観光地への移動時間が短く、到着時間が読めること

インターチェンジの位置等を検討するうえで重視すべき事項

16 周辺の産業・物流施設にアクセスしやすいこと

17 集落に近接し、大分中心部や熊本方面へ早くかつ安全に移動できること

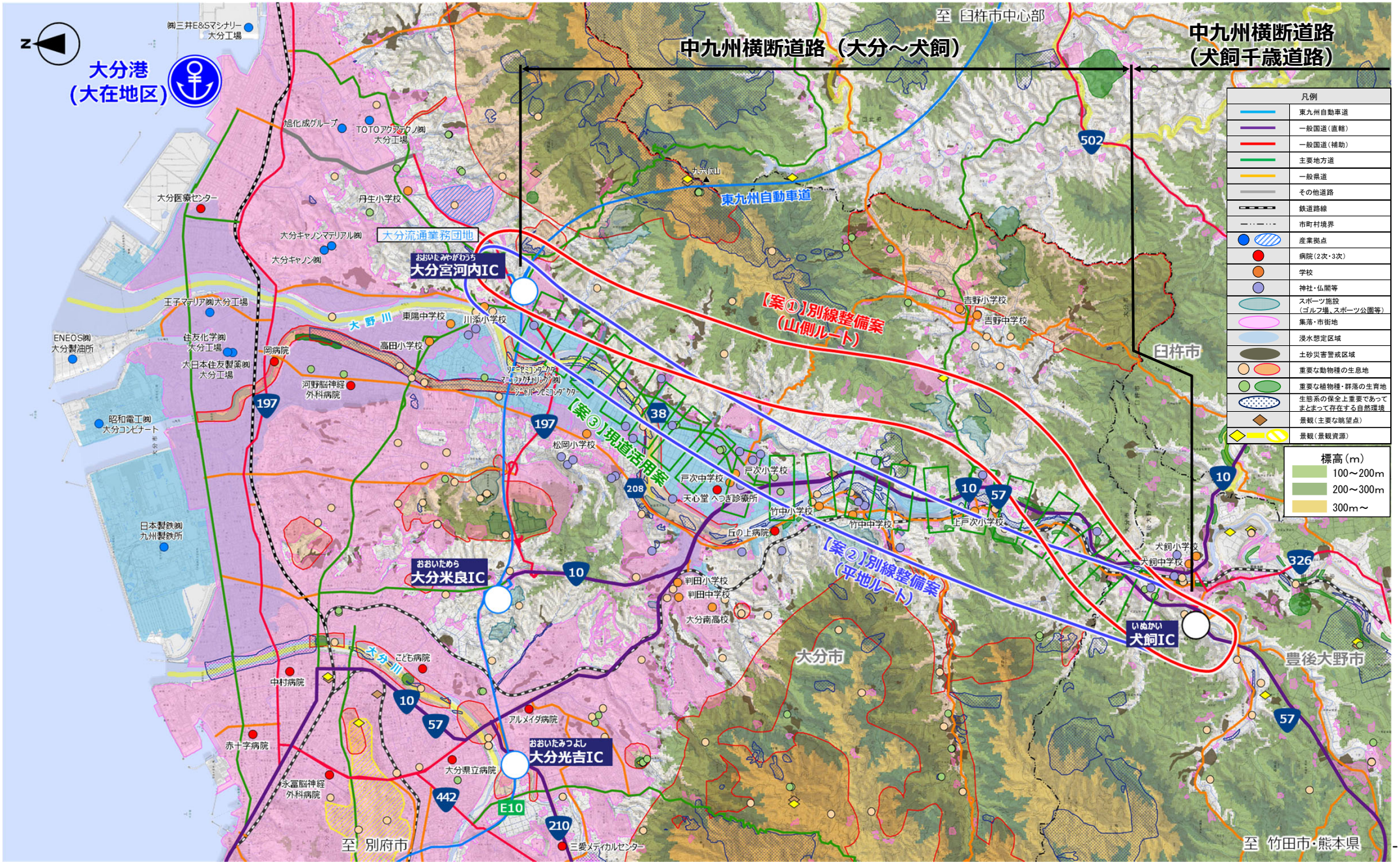
18 集落に近接し、大分市内の医療施設への移動時間が短縮すること

19 観光資源・観光施設に近接して早く行けること

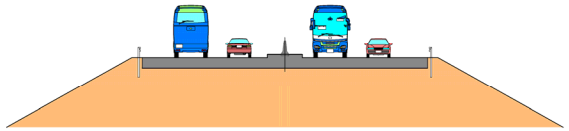
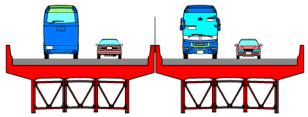
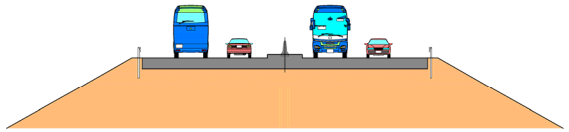
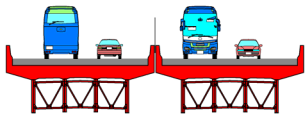
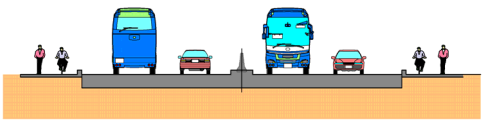
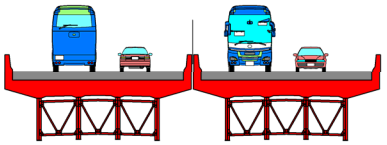
20 災害時に安全かつ円滑にアクセスできること

中九州横断道路（大分～犬飼）ルート帯案

【案①】別線整備案（山側ルート）：山間部に沿って集落・市街地・浸水想定区域を可能な限り回避する別線整備案
【案②】別線整備案（平地ルート）：平地部の集落・市街地・浸水想定区域を通過するが、起終点間を最短で結ぶ別線整備案
【案③】現道（国道10号・57号・県道38号）活用案：国道10号・57号・県道38号の現道拡幅や交差点立体化等を行う案



中九州横断道路（大分～犬飼）ルート帯案のポイントと道路構造

	ルート帯案のポイント	ルート帯案の道路構造
案①	・大野川近傍の集落・市街地を避けて山地部を通過し、大分宮河内IC～犬飼ICを連絡する。 ・山間部のコントロールポイントに配慮しながら別線で整備する。 ・浸水リスクについては盛土・橋梁による回避とともに、浸水想定区域の区間をほぼ回避している。	【横断図】 （土工部）  （橋梁部）  （トンネル部） ※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、鉄道、道路を跨ぐ区域等は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定
案②	・大野川近傍の集落・市街地を通過し、大分宮河内IC～犬飼ICを最短ルートで連絡する。 ・平地部のコントロールポイントに配慮しながら別線で整備する。 ・浸水リスクについては盛土・橋梁により回避するが、浸水想定区域を通過する区間が比較的長い。	【横断図】 （土工部）  （橋梁部）  （トンネル部） ※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、鉄道、道路を跨ぐ区域等は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定
案③	・国道10号・57号・県道38号の大分宮河内IC～犬飼ICを改良しながら4車線に拡幅する。 ・現道拡幅を基本とし、主要な交差点を立体化して整備する。 ・浸水リスクについては立体交差部以外は現況と変わらない。	【横断図】 （土工部）  （橋梁部） 

中九州横断道路（大分～犬飼）ルート帯案の比較表

評価項目					【案①】 別線整備案（山側ルート）	【案②】 別線整備案（平地ルート）	【案③】 現道（国道10号・57号・県道38号）活用案
項目			評価指標		山間部に沿って集落・市街地・浸水想定区域を可能な限り回避する別線整備案	平地部の集落・市街地・浸水想定区域を通過するが起終点間を最短で結ぶ別線整備案	国道10号・57号・県道38号の現道拡幅や交差点立体化等を行う案
					延長　約18ｋｍ 自動車専用道路タイプ（設計速度:80ｋｍ/ｈ）	延長　約17km 自動車専用道路タイプ（設計速度:80ｋｍ/ｈ）	延長　約18ｋｍ 一般道路タイプ（設計速度:60ｋｍ/ｈ）
政策目標	産業	速達性・定時性・アクセス性の向上による産業活動の支援	①	大分市内の産業・物流拠点※1から熊本市までの移動時間	・大分市内の産業・物流拠点※1から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	・大分市内の産業・物流拠点※1から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	・大分市内の産業・物流拠点※1から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案①、案②より劣る
	防災	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	②	災害時に機能する代替路の確保	・別線整備により代替路が確保される	・別線整備により代替路が確保される	・現道利用のため代替路が確保されない
			③	浸水に関する被災リスク	・浸水想定区域をほぼ回避するルートであるため、道路損傷による通行規制が発生する可能性が最も低い	・浸水想定区域を通過する区間が案①より長いため、道路損傷による通行規制が発生する可能性が案①より高い	・現道利用のため道路自体が浸水する恐れがあり、通行規制が発生する可能性が最も高い
	暮らし	速達性・定時性・安全性・走行性の確保による生活利便性の向上	④	現道の安全性・走行性（生活交通・物流交通の分散）	・別線整備により生活交通と物流交通が分散し、交通混雑の緩和が図られるため、走行性・安全性向上が見込まれる	・別線整備により生活交通と物流交通が分散し、交通混雑の緩和が図られるため、走行性・安全性向上が見込まれる	・主要交差点の立体化等により混雑緩和が図られるが、現道の生活交通と物流交通の混在は残る
	医療	速達性・走行性の向上による医療活動の支援	⑤	三次医療施設※2への走行性	・別線整備により現道の信号交差点等を回避できるため、搬送時の加減速の頻度が減少し、走行性向上が見込まれる	・別線整備により現道の信号交差点等を回避できるため、搬送時の加減速の頻度が減少し、走行性向上が見込まれる	・搬送時に信号交差点等において加減速が発生するため、走行性の面で案①、案②より劣る
			⑥	救急搬送時（三次医療施設※2）の速達性の向上（30分圏域人口の拡大）	・大分市内において30分以内で三次医療施設※2に到着できない地域の近傍を通過するルートであるため、30分圏域人口の拡大が最も見込まれる	・大分市内において30分以内で三次医療施設※2に到着できない地域の近傍を通過しないルートであるため、30分圏域人口の拡大は案①より劣る	・大分市内において30分以内で三次医療施設※2に到着できない地域の近傍を通過しないルートであるため、30分圏域人口の拡大は案①より劣る
	観光	広域周遊道路ネットワークの確保による観光振興の支援	⑦	観光地※3への移動時間	・別府・佐賀関方面から豊後大野市・竹田市の観光施設までの移動時間の短縮が図られる	・別府・佐賀関方面から豊後大野市・竹田市の観光施設までの移動時間の短縮が図られる	・別府・佐賀関方面から豊後大野市・竹田市の観光施設までの移動時間の短縮が図られるが、案①、案②より効果は小さい
道路整備による影響	生活環境※4		⑧	大気質、騒音への影響	・集落・市街地等を通過するため、生活環境に影響を与える可能性があるが、影響の程度は最も小さいと考えられる	・集落・市街地等を通過するため、生活環境に影響を与える可能性があり、影響の程度は案①より大きいと考えられる	・集落・市街地等を通過するため、生活環境に影響を与える可能性があり、影響の程度は案①より大きいと考えられる
	自然環境※4		⑨	動植物の生息・生育地、生態系等への影響	・自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある	・自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある	・自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある
	景観※4		⑩	景観資源・主要な眺望点への影響	・景観資源を一部通過するため、景観に影響を与える可能性がある	・景観資源・主要な眺望点を一部通過するため、景観に影響を与える可能性がある	・景観資源・主要な眺望点を一部通過するため、景観に影響を与える可能性がある
	集落等への影響		⑪	移転が必要となる家屋・施設等の数	・山間部を主に通過するため、移転等は少ない	・集落・市街地を通過するため、学校、家屋、商業施設、神社・仏閣などが多く存在し、移転等が多い	・集落・市街地を通過するため、学校、家屋、商業施設、神社・仏閣などが多く存在し、移転等が多い
	沿道利用		⑫	周辺からのアクセス利用	・沿道の集落・施設からの利用はインターチェンジに限定される	・沿道の集落・施設からの利用はインターチェンジに限定される	・沿道の集落・施設からのアクセス性は高い
	施工中の影響		⑬	現道交通や生活道路等への影響	・別線整備のため、現道交通への影響は小さい ・山間部を主に通過するため、生活道路内の交通に対して影響を与える可能性は案②、案③より低い	・別線整備のため、現道交通への影響は小さい ・集落・市街地を通過するため、生活道路内の交通に対して影響を与える可能性が高い	・現道の切り回し等により現道交通への影響が大きい ・集落・市街地を通過するため、生活道路内の交通に対して影響を与える可能性が高い
	段階的な効果の発現		⑭	発現の時期	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる
	コスト		⑮	整備に要する費用	約2,200～2,400億円	約2,200～2,400億円	約1,200～1,400億円

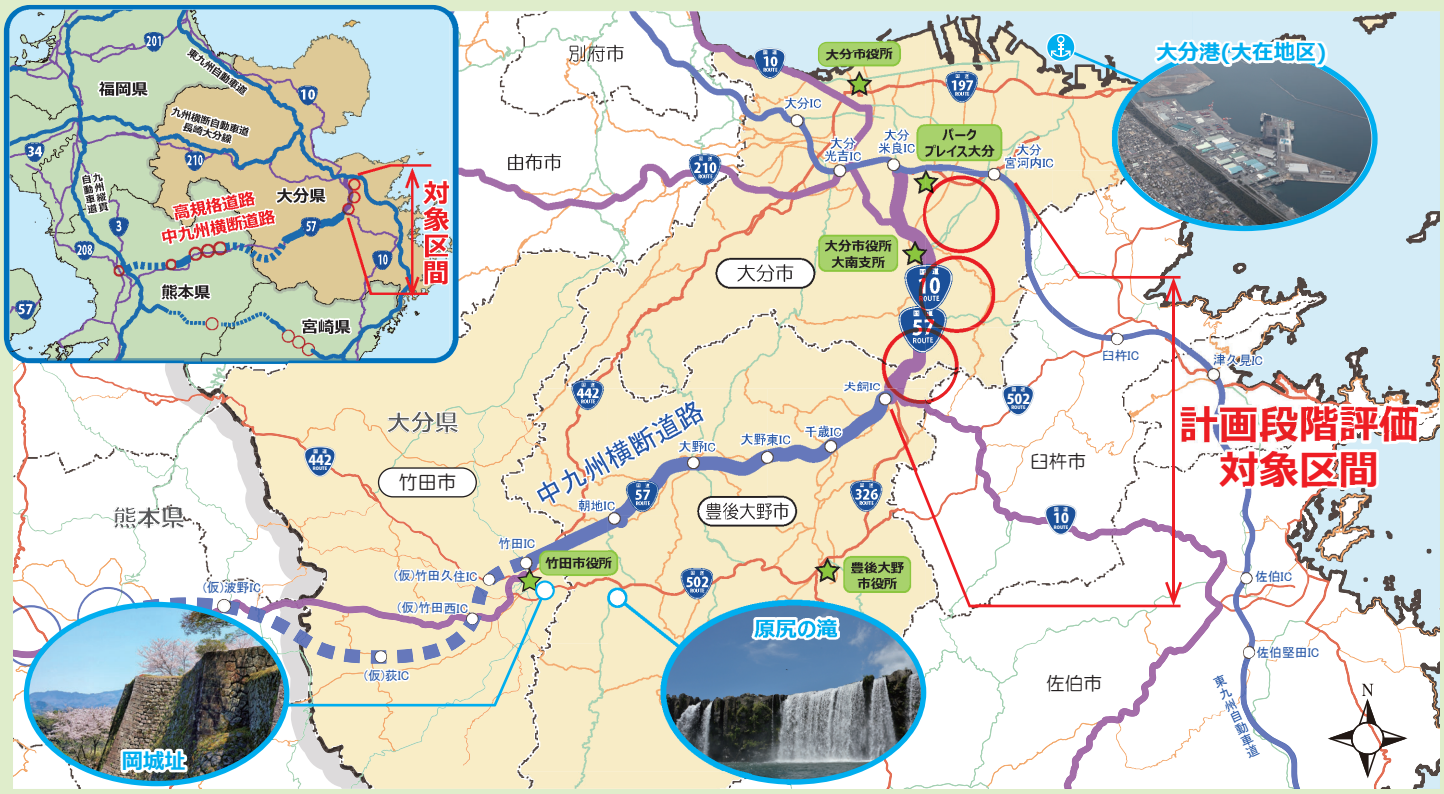
※1…産業・物流拠点：大分港(大在地区)　※2…三次医療施設：アルメイダ病院　※3…観光地：岡城址(竹田市)　※4…自動車の走行や道路の存在に伴い影響を及ぼす可能性のある事項を整理

中九州横断道路（大分～犬飼）

道路計画に関するご意見をお聞かせください

詳細は裏面に

Web回答も受付中！



パネル展示・アンケート調査を実施します

中九州横断道路（大分～犬飼）に関する道路整備の計画検討を進めるにあたり、下記の日時・場所において**パネルの展示**と合わせ**スタッフが説明**を行います。

最適なルート帯やインターチェンジの接続位置等を検討する上で参考となる「重視すべき事項」について、皆様のご意見をお聞かせください。

開催時間	
平日	休日
9:00～16:00	10:00～16:00

大分市	3月2日（木）	大分市役所 本庁舎
	3月5日（日）	パークプレイス大分
	3月7日（火）	大分市役所 大南支所
豊後大野市	3月3日（金）	豊後大野市役所
竹田市	3月6日（月）	竹田市役所

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越し下さい。

※荒天等により延期や中止となる場合は、前日の17時までに大分河川国道事務所のホームページでお知らせします。

【新型コロナウイルス感染予防に関する取組みとお願い】

○会場では、感染拡大防止のため、調査員のマスク着用、十分な消毒、３密の回避に取組んでおります。
○ご来場される方は、右記の実践をお願いします。
○何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

・マスクは着用して参加して下さい。　・最低限の人数でご参加下さい。（３密回避）
・会場にて手指の消毒を実施しております。
・混雑してきた場合は、入場の制限をさせていただくことがあります。
・37.5℃以上の熱やだるさ、咳、息苦しさなどの症状がある方は、参加をお控え下さい。

国土交通省　九州地方整備局
大分河川国道事務所
（協力）大分県・大分市・豊後大野市・竹田市

お問い合わせ先：大分河川国道事務所 調査第二課
所在地　〒870-0820 大分県大分市西大道1丁目1番71号
TEL　097-544-4167（代表）
　　097-546-1484（調査第二課）
URL　http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/

パネル展示・アンケート調査会場アクセスMAP

■大分市役所 本庁舎

［所在地］大分市荷揚町2番31号

［開催日］令和５年３月２日（木）

■大分市役所 大南支所

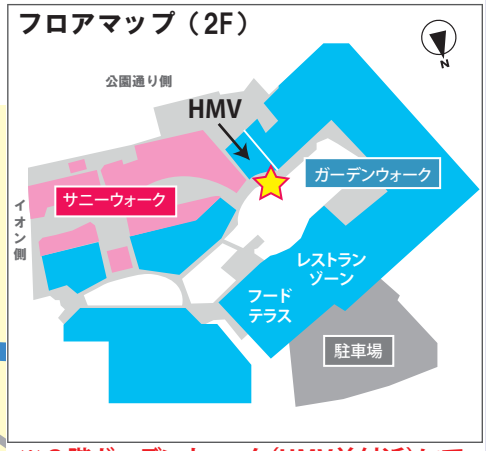
［所在地］大分市中戸次5115番地の1

［開催日］令和５年３月７日（火）

■パークプレイス大分

［所在地］大分市公園通り西2丁目1番

［開催日］令和５年３月５日（日）



※２階ガーデンウォーク（HMV前付近）にて開催いたします。

■豊後大野市役所

［所在地］大分県豊後大野市三重町市場1200番地

［開催日］令和５年３月３日（金）

■竹田市役所

［所在地］大分県竹田市大字会々1650番地

［開催日］令和５年３月６日（月）

Web回答も受付中（令和５年３月３１日（金）までに回答をお願いします。）

会場にお越し頂けない方は、下記のアンケートサイトやQRコードからも回答することができます。

URL https://questant.jp/q/oita-inukai-w2

QRコードはこちら→